

平成 27 年度 エコ・ファーストの約束のフォローアップ報告  
(報告会用)

企業名：アジア航測株式会社

報告年月日：平成 27 年 5 月 18 日

No.	約束の分野	約束内容・主な項目	達成状況	備考
1	低炭素社会の実現への貢献	事業活動による CO <sub>2</sub> 排出量を 2020 年度までに 2011 年度比で 25%削減する。	<p>◆電気使用による CO<sub>2</sub> 排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ PC の導入</li> <li>・冷暖房温度の調整 等</li> </ul> <p>◆車両用ガソリンの使用に伴う CO<sub>2</sub> 排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低公害車両 (エコカー) の導入 等</li> </ul> <p>★2011～2014 年の CO<sub>2</sub> 排出量削減状況</p> <p>2011 年排出量：3156t-CO<sub>2</sub> 2014 年排出量：2618t-CO<sub>2</sub> →2011 年度比で 17%の削減</p>	P12
2	自然共生社会の実現への貢献	航空測量技術、コンサルタント技術など当社技術を活かして自然共生社会の実現に貢献する。	<p>◆自然資源の保全や育成に貢献</p> <p>航空レーザ計測技術、環境コンサルタント技術により森林資源、自然環境資源の計測と評価を実施。</p> <p>◆社会と自然の共生に貢献</p> <p>航空レーザ計測技術、防災コンサルタント技術により自然災害発生状況の把握、災害発生可能性の検証、災害からの復興計画の策定を実施。</p> <p>◆再生可能エネルギー事業の推進に貢献</p> <p>風力発電、太陽光発電、中小水力発電、地熱発電、バイオマス利用など再生可能エネルギーの導入可能性について検証を実施。</p> <p>◆環境再生への貢献</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の漏洩に関する除染事業を実施。</p>	P17-21
3	環境保全に向けた人材づくり、地域づくり	社員の有する環境技術を社会の環境教育、環境保全活動に役立てる。	<p>◆CSR活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災に伴う被災地支援を実施。</li> <li>・本社が位置する川崎市麻生区の小中学校への環境出前講座を実施。</li> <li>・河川や道路の清掃活動、公園緑地の維持管理活動などへの参加。</li> <li>・自然環境保全活動を実施している NPO と協業し、森林保全活動、環境教育活動を実施。</li> <li>・学会等での発表、新聞や雑誌等の各種メディアへの掲載等により技術情報を社会に発信。</li> </ul>	P22

4	自然災害発生に伴う情報提供等の推進	災害など緊急の環境負荷発生に対する情報提供、東日本大震災に伴う被災地モニタリングを実施する。	<p>◆自然災害発生への対応 河川氾濫、土砂災害、火山噴火などの自然災害に伴う空中写真撮影と情報提供を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年の自然災害発生への対応：5件</li> <li>・2014年の自然災害発生への対応：5件</li> </ul> <p>◆東日本大震災に伴う被災地モニタリングの実施 2013年より東日本大震災により被災した地域の自然の再生状況、社会の復興状況のモニタリング及び情報提供を実施。</p> <p>&lt;モニタリング実施事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空中写真撮影：2013年6地区、2014年8地区の空撮と情報公開。</li> <li>・LiveViewによるモニタリング：仙台空港～石巻市沿岸地域のLiveView撮影と情報公開。</li> <li>・地上写真撮影：被災エリアにおける地上写真撮影。2013～2014年で200箇所撮影と情報提供。</li> </ul>	P29-32
---	-------------------	--	--	--------

注)「備考」欄のページは、「CSRレポート2014 飛ぶ、測る、明日の環境を創る」の関連ページを示す。

自由記載欄（提出方法や報告会の進め方、その他御意見等ございましたらご自由にどうぞ）

- ・ 1社7分間の報告の場合、PPTなどによるプレゼン方式の報告のほうがやりやすいと感じます。今回は、別途資料として関連する資料を説明資料として添付しました。様式1自体はすっきりしていてよいと感じます。
- ・ 当社の約束手でファジーな記述がいくつかあります。このあたりは適時規定を明確化し定量的にリサーチできる方法を検討したいと思います。
- ・ 今回の様式1及び2を整理していて、CO<sub>2</sub>排出量などは年度ごとに目標を設定するほうがよいと感じました。当社は2020年の目標値設定のため、年度リサーチに問題があると思いますので、適時改良したいと思います。